



安来市立伯太中学校だより

ひいず  
日出る中学校 教育の光は伯中から

# 独立 協力 技術

学校教育目標「豊かな人間性と自主的精神に満ちた生徒を育てる」



令和4年4月20日号（文責：校長 實重 詔子）

## 令和4年度がスタートしました

今年度、伯太中は生徒115名、教職員数21名、6学級構成となります。安来市ICT活用教育研究指定校（安来市教育委員会指定）、文部科学省事業「学習者用デジタル教科書（数学）活用校」です。また、令和5年度中国放送教育研究大会島根大会のプレ大会発表校でもあります。今年度も何卒よろしくお願ひいたします。



## ごあいさつとたよりのタイトル

今年度着任しました、第24代校長の實重です。生徒・教職員・保護者・地域の皆様との対話を大切に、合意形成を図りながら学校経営に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、学校だよりのタイトルですが、前任の田中校長先生は校歌の3番の歌詞より『青春の夢』、第22代の秦校長先生は、校歌の1・2・3番より『独立の気』『協力の花』『高き技術』とつけておられました。ものすごく迷いましたが、どなたにも校訓を覚えていただけるよう、今年度のたよりのタイトルは校訓そのままにしました。学校教育目標とともに覚えていただけると嬉しいです。



校長室にある  
「校訓」の額  
(伊達源一郎氏書)

【先生方へ】  
生徒ともに多様な価値観を尊重し、生徒・保護者・地域の方々と合意形成を図り、協働していきましょう。人を相手とする仕事ですので、当初の計画通りにいかない部分が必要ありますが、子どもたちの力を信じて、思いや考えを受け止めながら、生徒が主役になる教育活動を展開していきましょう。

【2年生へ】  
中学校生活の大きな分かれ目の1年となります。学習内容が難しくなるだけでなく、1年生の二本となることで求められる存在になります。「自分で考える」「自分で行動する」ことを意識して毎日を過ごそう。



【3年生へ】  
皆さんは、「学校の顔」であり、今年度の伯中をつくる中心となります。最大の目標は、卒業後の進路を決めることです。力を高め、選択肢をひろげるために、「今自分は何を優先すべきか」ということをいつも自分と相談しよう。

【3年生へ】  
皆さんは、「学校の顔」であり、今年度の伯中をつくる中心となります。最大の目標は、卒業後の進路を決めることです。力を高め、選択肢をひろげるために、「今自分は何を優先すべきか」ということをいつも自分と相談しよう。

【3年生へ】  
皆さんは、「学校の顔」であり、今年度の伯中をつくる中心となります。最大の目標は、卒業後の進路を決めることです。力を高め、選択肢をひろげるために、「今自分は何を優先すべきか」ということをいつも自分と相談しよう。

【3年生へ】  
皆さんは、「学校の顔」であり、今年度の伯中をつくる中心となります。最大の目標は、卒業後の進路を決めることです。力を高め、選択肢をひろげるために、「今自分は何を優先すべきか」ということをいつも自分と相談しよう。

## 始業式でのメッセージ



## お花をいただきました

伯太町内のチューリップ生産者6団体で組織される「はくたチューリップ祭振興会」様が、市内全小中学校にチューリップを贈られ、本校も50本のチューリップをいただきました。また、いつも季節のお花を届けてくださる地域の方から、この度たくさんの種類のお花をいただきました。入学式の式場や、教室等に飾らせていただき、学校が明るくなりました。ありがとうございました。



## 着任式・始業式（4月8日）

着任式では、後日着任者1名を除く5名が2・3年生と対面しました。始業式では、今年度めざす学校像、教職員をふくめ全校で心にとめたいこと、3年生・2年生・先生方へのメッセージをおくり、学年・学級・部活動等を担当する先生方を発表しました。自分を成長させるきっかけとなる新たな出会いを大切に、さまざまな人と協働していきましょう。



## 入学式（4月11日）

安来市教育委員会 秦教育長様ご臨席のもと、新入生35名の入学式を行いました。リモートで式に参加している2・3年生や教職員をはじめ、伯太中に関わるすべての人が、新入生の入学を心待ちにしていました。新入生確認では、全員が大きな声で返事しました。

校長式辞では、伯太中の校訓と、日々心に留めてほしいことについて話をしました。

### 【校訓「独立 協力 技術」】

自分というものを保ちながら、さまざまな立場の人と協働し、知識や情報を活用しながら、自分の頭で考えて、自分の力で立つ、3年後にはそんな状態になっている自分をめざしてほしい。



### 【日々心に留めてほしいこと】

#### 1. 自己理解を進め、多くの人に適切に頼ろう

自分は何ができて、何ができないのか。できない部分を補うにはどうしたらよいか。できることを他の人のためにどう生かすか。日々自分と相談し続け、わからないこと・できないことは、素直に伝えよう（自立の要素）。



#### 2. 「ちがいを」を前提として行動しよう

人はみんなちがっていて当たり前、ちがっていることは自然なこと。だから思いや考えを伝え合って折り合いをつけたり、より良いものを生み出したりしていこう。

#### 3. 「トライアル&エラー」（試行錯誤）をたくさんしよう

人のまねをするなどの近道を通っても、自分の力にはならない。自分でやってみて、失敗して、うまくいかなかった部分を修正して、またやってみる、というトライアル&エラー（試行錯誤）を自分でたくさんやろう。

## 令和4年度 学校経営方針

学校教育目標	豊かな人間性 と 自主的精神 に満ちた生徒を育てる
校 訓	独立 協力 技術

めざす学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>＊ 「安全安心を実感できる学校」</li> <li>＊ だれもが学び、進化・発展する「学ぶ学校」</li> <li>＊ 地域に存在を喜ばれ、「地域とともにある学校」</li> </ul>	
めざす生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>＊ 自ら考え、判断し、行動する生徒</li> <li>＊ 多様な他者と協働する生徒</li> <li>＊ 豊かな発想をもち、創意工夫する生徒</li> </ul>	
めざす教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>＊ 多様な価値観を尊重する教職員</li> <li>＊ 他者と合意形成を図り、協働する教職員</li> <li>＊ 挑戦し、試行錯誤しながら粘り強く取り組む教職員</li> </ul>	

### 育成する力 必要なスキル 重点項目

家庭で行っていただきたいこと  
「自分で考える力」を育てるために

- ① たくさん問いかけ、子どもの答えや考えを聞きましよう
- ② TV・ゲーム・スマホを離れて自分で考える時間づくりの支援を
- ③ 食事の質・睡眠時間の確保に配慮し、落ち着いて学習できる環境づくりを

#### 自己を調整する力

- ① 自己を理解する
- ② 感情や行動をコントロールする
- ③ 見通しをもって粘り強く取り組む
- ④ 振り返って次につなげる

・キャリア・パスポートの活用  
・セルフPDCA指導の充実  
・通級指導教室の活用  
・教育相談の充実

#### 多様な人と協働する力

- ① 適切に援助を求める
- ② 他者の立場に立つて思考する
- ③ 他者と合意形成しながら行動する

・人権教育の充実  
・道徳教育の充実  
・生徒が主体となる活動の推進  
・地域の「ひと・もの・こと」とふれあう体験活動の充実

#### 言語や情報を 使いこなす力

- ① 言語と技能をみかく
- ② 知識を関連づけ深く理解する
- ③ 思いや考えを他者に伝える・受けとめる

・ICTを活用した協働的な学びの充実  
・予習・復習・自学指導の充実  
・学校図書館活用教育の充実  
・各種検定・コンクール参加の推進